

# Associations of Weight Gain From Early to Middle Adulthood With Major Health Outcomes Later in Life

Original Investigation July 18, 2017

Yan Zheng, JoAnn E. Manson, Changzheng Yuan, Matthew H. Liang, Francine Grodstein, Meir J. Stampfer, Walter C. Willett, Frank B. Hu

2023.04.27 臨床看護学講座（成人看護学） 清原 麻衣子

■背景：過剰脂肪率は、主要慢性疾患および早期死亡の確立したリスク因子であるにも関わらず、体重増加が最も多いと考えられる成人期初期～中期における体重増加がその後の健康影響とどのように関連するかは明らかとなっていない

## ■目的：

成人期初期から中期にかけての体重増加と、その後の健康上のアウトカムとの関連を明らかにする

■方法：・アメリカ 2つの大規模前向きコホート研究

- ・対象 女性看護師（n=92,837）、男性医療従事者（n=25,303）
- ・追跡期間：女性看護師：1976年～2012年6月30日  
男性看護師：1986年～2012年1月31日

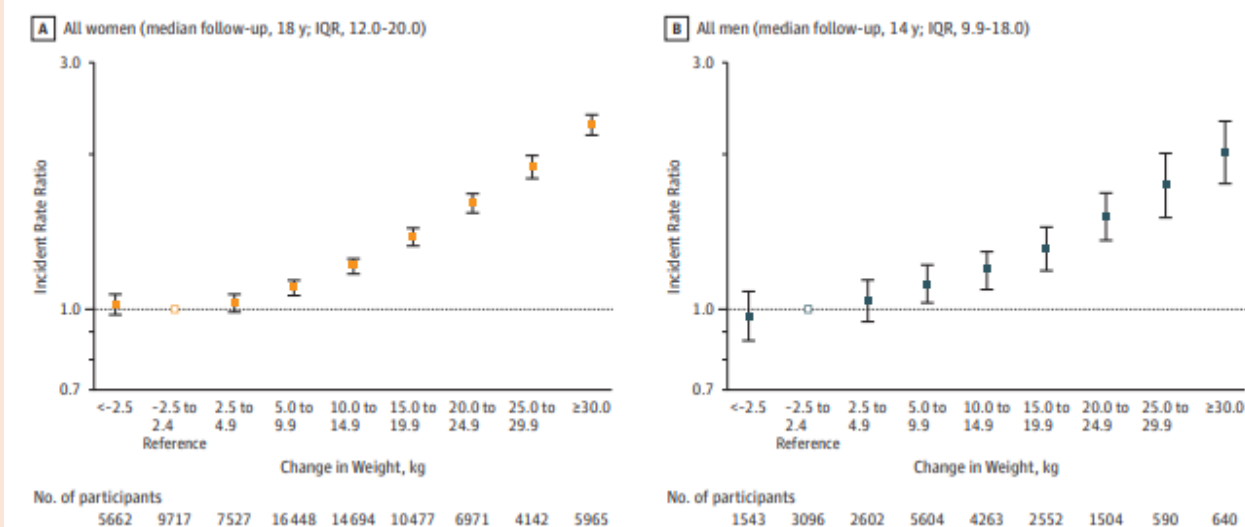
### ・主要評価項目：

2型糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満関連がん、胆石症、臨床的重症変形性関節症、白内障摘出、死亡、複合健康老化アウトカム、主要慢性疾患の複合尺度の発症事例

・主要解析方法：ロバスト標準誤差を用いたポアソン回帰モデルを用いて、罹患率、および罹患率比（IRR）および95%CIを、主要な健康アウトカム（参加者が55歳になった年から2012年まで）の罹患の相対リスクの指標として算出。

■結果：平均追跡期間 女性 1,561,919人年、男性 343,951人年

- 成人期初期から中期にかけての体重増加は、男女ともに罹患率と死亡率のリスク増加、および複合的な健康的老化を達成するオッズの減少と関連を認めた。
- 5kgごとの体重増加は、2型糖尿病、心血管疾患、がん、死亡からなる主要な慢性疾患の複合指標の発生率の有意な上昇と関連をみとめた。

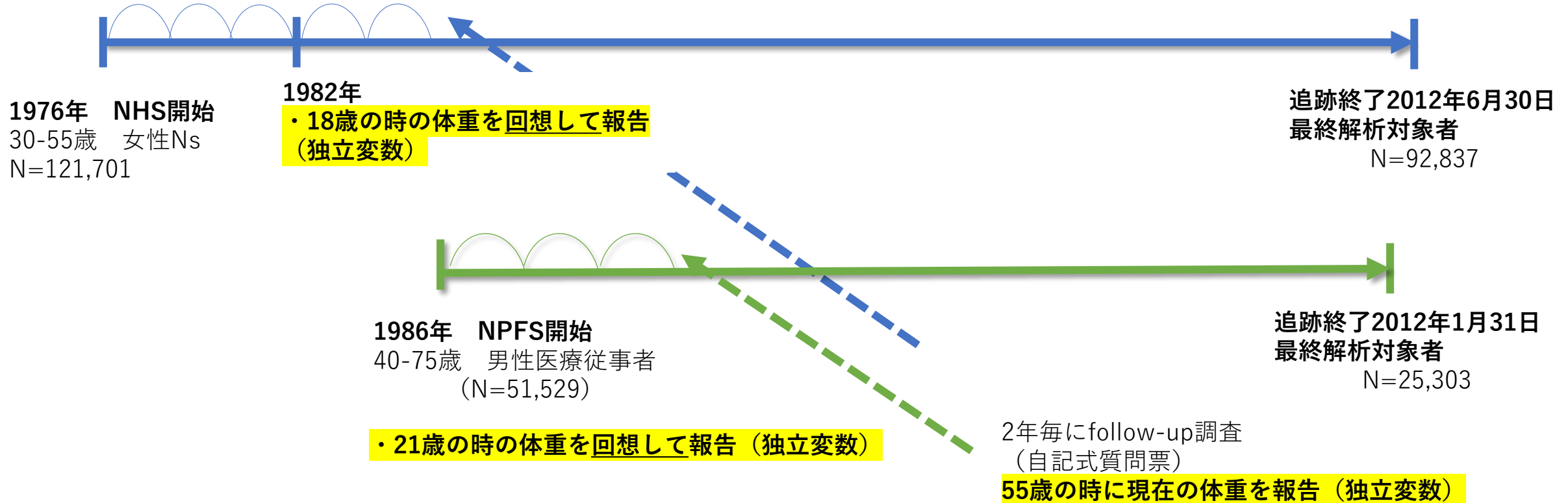


図：主要な慢性疾患の複合指標のリスクと体重変化との関連

■限界： ① 医療者を対象としている ②初期体重が回想に基づくデータである

■結論：男女ともに成人期初期から中期にかけての中等度の体重増加は、主要な慢性疾患・死亡リスクの有意な上昇と関連した

ふたつのコホート概要



各コホート約90%が追跡情報入手可能